

災害に備えて

ため池の改修は

【問】淡路島では、昨年の台風23号により、多くのため池が全半壊となった。本市には、住宅密集地にため池が多く存在しているが、ため池の改修や診断、管理体制について聞きたい。

【答】現在、761カ所のため池がある。水防上重要なものを「水防ため池」として107カ所指定し、毎年梅雨の前に府とともに漏水の有無、老朽度などを調査し、その結果64カ所が改修済みである。通常は地元水利組合が維持管理しているが、異常時には市、農協府などと連携して事態に対応している。

生じた場合、本市での緊急物品についてはどうか。

【答】救護・救援体制を迅速に実施するために、食料や生活必需品などの供給確保に努めており、重要物資8品目（アルファ化米・乾パン、高齢者用食、粉ミルク、哺乳瓶、毛布、オムツ、衛生用品、簡易トイレ）の備蓄基準を定めている。

【問】改修が進む底間池（岡山町）と宮の池公園に耐震性緊急貯水槽を整備して、主要4配水場でも貯水量が確保される。アルミボトル缶2万本の備蓄と合わせて1週間35万人の対応が可能となっている。



改修が進む底間池（岡山町）

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

【問】災害発生時の人的・物的な支援は、近隣で相互応援協定を結んでおり、府を通じて支援を要請できる。また、災害対策基本法では全国レベルでも応援を求めることができる。【問】個々の自治体との防災協定が早急に必要と考える。

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

全国の交流都市と

早急に防災協定を

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

【問】東南海・南海地震は近い将来、かなり高い確率で発生すると言われている。地震に備えての予防策や、災害を最小限にする対策をとるのが大前提であるが、震災後の対策をどうするかは非常に大切と考える。

防災から減災

被害の軽減策は



ボルトとナットでしっかり固定（市民病院カルテ室）

【問】昨年10月に発生した新潟県中越地震は震度7を記録し、家具類の転倒や室内の落下物による負傷者は全体の4割を占めている。いつ起こるかかわらない災害に対し、取り組むべき防災対策は、被害の軽減と拡大防止策を準備することと考える。

【問】昨年10月に発生した新潟県中越地震は震度7を記録し、家具類の転倒や室内の落下物による負傷者は全体の4割を占めている。いつ起こるかかわらない災害に対し、取り組むべき防災対策は、被害の軽減と拡大防止策を準備することと考える。

【問】昨年10月に発生した新潟県中越地震は震度7を記録し、家具類の転倒や室内の落下物による負傷者は全体の4割を占めている。いつ起こるかかわらない災害に対し、取り組むべき防災対策は、被害の軽減と拡大防止策を準備することと考える。

【問】昨年10月に発生した新潟県中越地震は震度7を記録し、家具類の転倒や室内の落下物による負傷者は全体の4割を占めている。いつ起こるかかわらない災害に対し、取り組むべき防災対策は、被害の軽減と拡大防止策を準備することと考える。

【問】昨年10月に発生した新潟県中越地震は震度7を記録し、家具類の転倒や室内の落下物による負傷者は全体の4割を占めている。いつ起こるかかわらない災害に対し、取り組むべき防災対策は、被害の軽減と拡大防止策を準備することと考える。

【問】昨年10月に発生した新潟県中越地震は震度7を記録し、家具類の転倒や室内の落下物による負傷者は全体の4割を占めている。いつ起こるかかわらない災害に対し、取り組むべき防災対策は、被害の軽減と拡大防止策を準備することと考える。

災害発生時

地域住民との連携を

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること



急げ、火事だ！（自主防災会消火栓操法大会）

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

【問】大規模な地震や津波などが発生した場合、災害に関する情報収集を行い、市民に適切に伝達すること

議会を傍聴しませんか

3月議会予定

傍聴を希望される人は、市役所新館3階の議会受付までお越しください。

- ▶ 2月25日(金) 本会議
- ▶ 2月28日(月) 文教民生常任委員会
- ▶ 3月1日(火) 事業常任委員会
- ▶ 3月2日(水) 総務常任委員会
- ▶ 3月3日(木) 本会議
- ▶ 3月8日(火) 本会議
- ▶ 3月9日(水) 本会議
- ▶ 3月10日(木)～17日(木) 予算特別委員会
- ▶ 3月22日(火) 本会議

※日程は、一部変更される場合があります。

※いずれも午前10時開会の予定ですが、1・11日の会議は、午後1時開会の予定です。



心の居場所のある楽しい学校に

不登校に潜む虐待

きめ細やかな対策を

【問】不登校の中に潜む虐待を発見するために、学習・生活支援の充実が必要と考える。きめ細かい指導をするため、進級や進学でも引き継がれるカルテの作成を提案するがどうか。

【問】不登校の中に潜む虐待を発見するために、学習・生活支援の充実が必要と考える。きめ細かい指導をするため、進級や進学でも引き継がれるカルテの作成を提案するがどうか。

【問】不登校の中に潜む虐待を発見するために、学習・生活支援の充実が必要と考える。きめ細かい指導をするため、進級や進学でも引き継がれるカルテの作成を提案するがどうか。

【問】不登校の中に潜む虐待を発見するために、学習・生活支援の充実が必要と考える。きめ細かい指導をするため、進級や進学でも引き継がれるカルテの作成を提案するがどうか。

【問】不登校の中に潜む虐待を発見するために、学習・生活支援の充実が必要と考える。きめ細かい指導をするため、進級や進学でも引き継がれるカルテの作成を提案するがどうか。